



# 「おもてなしの入り口」 活動概要

有限会社アリカエンタープライズ

代表取締役 田中賀鶴代

京都観光おもてなし大使

京都府文化観光大使

茶源郷和東PR大使

ライスジュレPR大使

おもてなし接遇コンサルタント

<http://arica.co.jp>

## 田中賀鶴代

有限会社アリカエンタープライズ代表取締役 京都府文化観光大使  
京都観光おもてなし大使 裏千家茶道助教授（祖母の代から3代目）

日本SDGs 推進大使

国立滋賀大学経済学部講師 2013年（ひこね吉本新喜劇 地域活性化コーディネーター）

おもてなし接客コンサルタント 公益財団法人 近畿警察官友の会 専任講師

衣食住のカラーコンサルタント（パーソナルカラー 色彩心理を取り入れた商品開発、  
公共施設、道路のデザイン） ユニバーサル検定2級

1988年 イメージカラーコンサルタントの資格取得

1991年「和文化の魅力を世界に発信」をコンセプトに講演/セミナー/イベント/企画サービスを提供する有限会社

アリカエンタープライズ設立。設立当初はブライダルプロデューサーとしての仕事が多く、当時まだなかった日本初のウェルカムボードやウェルカムベア、リングクッションなど結婚式でのおもてなし演出や企画販売した幸せな花嫁グッズがマスコミに多く取り上げられる。特に2人のオリジナル紋章製作サービス「クレスティング」は優れたオーダーメイド1位を受賞。

祖母の代から受け継いだ茶の湯とブライダルのおもてなしの精神は同じと気づき、活躍の場をブライダルシーンから

ビジネスシーンにシフト。武士や商人がたしなんだ究極のコミュニケーション術の茶の湯の精神をビジネスマナーに取り入れた講演

「ビジネスに活かす和文化講座」「おもてなしビジネスマナー」「また会いたいと言われる人になるために」「五感を磨いて、感性アップカラーセミナー」「また訪れたい、是非住みたいと思って頂くために必要なこと」などを年間約100回こなす。明治150年、文化庁京都全面移転

2020オリンピック・パラリンピックを機に国際交流と学校教育のために明治期に創案された「テーブル茶道 盆略点前（ぼんりやくでまえ）」で日本の

総合芸術と言われる茶の湯をもっと気軽に楽しんで頂く工夫や音楽や芸術とのコラボレーションの活動を通じて、

オール京都・オールジャパン・オールピープル・オールカルチャーの魅力発信・観光PRを続けている。

国内外でのテーブル茶道 盆略点前の普及活動は「京都市まちづくり・お宝バンク」・SDGs活動に認定されている。

2017年 念願の障がい女子の車いすおもてなし隊をNHKバリバラのファッションショーバリコレ京都市ブースでデビューさせる。

同年 日タイ修好150周年でPMポン前国王の御仏前前で献茶。2018年 中国杭州文化創意博覧会(来場者25万人)で茶道のお点前を披露

する。2019年 ジャパングルテンフリーコンテストで全国3位。ライステクノロジー大賞受賞 ライスジュレPR大使を受賞。

著書 元外交官 国立京都国際会館元館長 中村順一「これだけは世界に発信したい日本についての18章」編集協力

訪問看護おもてなし接客ハンドブック 2019年4月発売



# 知の結集 「テーブル茶道 盆略点前」展開例



# 車いすおもてなし隊

- 2017年10月28日(土)、京都市左京区「岡崎公園」特設野外ステージ(平安神宮前)に行われたNHK主催のイベント『バリコレ2017』の京都市ブース内で、「車いすおもてなし隊」の8名は京都観光おもてなし大使の田中賀鶴代の指導の下、「テーブル茶道 盆略点前」の腕前を披露しました。
- 当日は「なかの孝株式会社」さんの協力でユニヴァーサル着物(車いすユーザーでも簡単に着脱できる着物)を着用し、全員が着物を着てのお点前を披露しました。



## Knowledge Innovation Award 5th.

### ナレッジキャピタル部門エントリーシート ※A3用紙で出力してください。

事務局記入欄	企業・団体、または個人名(フリガナ) タナカ カツヨ 田中 賀鶴代 (ナレッジサロン会員・木曜サロン登壇者)	有限会社アリアセンタープライズ 代表取締役 京都観光おもてなし大使
--------	---	--------------------------------------

タイトル(フリガナ) **テーブルでする益路点前「茶禅一味」による  
ナレッジサロン会員IT技術者のリフレッシュ検証実験**

#### ■応募内容について、以下の選考基準より特にアピールしたい項目をお選びください。(複数可)

- 新しい組み合わせやコラボレーション要素がある
- デザインが優れている
- エンターテインメント性など人の心を強く掴む要素がある
- 事業化の可能性が高い
- 世界的な広がりを感じる要素がある
- 社会的影響力を持ち、社会変革の可能性がある
- 革新的なアイデアがある
- 先端技術や技術改良などの工夫がある
- 継続的な活動により、業績やイメージブランディング向上に寄与している

#### ■応募内容の特長、アピールポイント、キーワード等を50字以内で明記ください。

世界発信ビジネス企業の社員間コミュニケーション手段としての  
テーブルでする益路点前「茶禅一味」の提案

#### ■応募内容の紹介

※これまでの活動、現状の成果、今後の展望等をご記入ください。  
※活動に関わる日時・期間も明記ください。

状態的に厳しく特殊な環境におかれながら業務を行っているといわれている「IT技術者」に対して、テーブルでする益路点前「茶禅一味」が技術者の心を癒し、豊かな感受性を創出することや業務効率の向上に繋がるかをナレッジサロンプロジェクトルームにて検証実験しました。



11/2(木)、11/9(木)、11/16(木)の計3日間(14時～16時の間)で、お一人約10分ずつ、10名の方に益路点前の体験をしていただきました。体験前と後でバイタルチェックを行い、変化を測定しました。

- <チェック項目>
- ・血圧(最高)・血圧(最低)・心拍数・ストレス指数
  - ・当日インタビュー・後日インタビュー

#### ※ナレッジサロン会員検証実験協力者(IT技術者10名)

- 川崎さん 有岡さん 福島さん 北川さん 神野さん
- 市井さん 富原さん 橋本さん 山本さん 泉原さん



※応募事項をご参照の上、すべての項目にご記入ください。※応募者様のご所属、ご本人確認をさせていただく場合がございます。  
※一次選考を通過した作品に関しては、ご記入頂きましたテキスト・画像をナレッジキャピタルの広報活動等に使用させていただきます。  
※本エントリーシートに記載される内容については各種権利関係にご注意ください。いかなる第三者からの真意申立や請求もいたしません。  
万一、第三者からの権利侵害、損害賠償などの主張がなされたときは、応募者が自らの責任で対応してください。主催者側は、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

#### ■添付画像及び紹介文

画像やキャプション、テキスト等自由にレイアウトください。  
※読める、わかる解像度をご確認ください。

#### 和と文化精神をいれた、おもてなしビジネスマナーを日本のビジネス・スピリッツとしてご提案

#### 茶道の精神「和敬清寂」

「和(わ)」とは、お互いに心を開いて仲良くすること  
「敬(けい)」とは、お互い敬い合うこと  
「清(せい)」とは、心の中も清らかであること  
「寂(じゃく)」とは、どんなときも動じない心



この4つの文字には、すべてのお茶の心がこめられているといわれています。

#### ～ 検証実験結果 (※10名のバイタル数値の平均値) ～

2017/11/2(木) 1回目		2017/11/9(木) 2回目	
事前バイタルチェック	事後バイタルチェック	事前バイタルチェック	事後バイタルチェック
血圧(最高)	135.9	129	132.1
血圧(最低)	89.7	80.6	79.9
心拍数	72.3	70.1	72.3
ストレス指数	50.2	59.2	56.1

<当日インタビュー>

- ・平日の経験ができ、おもしろかったし、ほっこりとした雰囲気良かった。
- ・最初なので緊張感があったが、お茶の正しいイメージではなく、気軽に飲むことができた。

<後日インタビュー>

- ・仕事の合間の気分転換になったが、その後は今のところ変化なし。
- ・当日、音聲と違う環境で新しい体験だったので、その後、なんとなくスッキリした感じがした。効果が続いているような感覚は現状なし。

<当日インタビュー>

- ・二回目なので、着茶着いでお茶の味を楽しむことができた。
- ・今日が住むしない一日だったので、お茶を頂いたことにより一息着いた。
- ・お茶がおいしく、興味があった。

<後日インタビュー>

- ・いいリフレッシュになったので、疲れが溜まっていたのが、リセットされた感じがした。
- ・日常のバタバタとした中で、時間をとり、お茶を頂くことで、精神面での切り替えができた。

2017/11/16(木) 3回目	
事前バイタルチェック	事後バイタルチェック
血圧(最高)	129.8
血圧(最低)	83.2
心拍数	69.7
ストレス指数	48.6

<当日インタビュー>

- ・三回目なので、馴染みができて、先生との会話を愉しむことができた。
- ・余裕があったので、お茶の香りや種の感じまで楽しむことができた。

<後日インタビュー>

- ・先生のお話や空気感、空間により安心感や気持ちの余裕を考えたとき、リフレッシュしてその後の業務をすすめられた。
- ・すぐに変化を感じられることはないと思うが、続けることで心に変化が現れるものだと感じた。

この3回を通じて、皆さんと一瞬ですが、心が通じたように感じました。一番興味深かったのは、皆さんの茶碗の選び方です。殆ど全員が利休さんが好んだ「黒楽茶碗」を選んだこと。如何に皆さんが、清寂や茶の湯、侘び寂びの境地を欲しているかを物語っているように感じました。

#### おわりに

「テーブルでする益路点前」は、忙しい現代人にとって茶の湯の世界への入り口となり、リラックスできる場からコミュニケーションの場へ、そして心遣いを学ぶ場となって、さらに日本人としての深い文化教養を身につけ、それを現代社会に活かし、発展へ繋げていく、そんな可能性を秘めた活動であると考えています。そして、和を大切に、人やモノに敬意を心清らかに、動じない心を持つことを日本のおもてなしビジネスのスピリッツと定義づけて、世界に発信するお手伝いがしたいと考えています。

# 日タイ修好130周年記念 タイ訪問、呈茶

在タイ日本国大使館  
Embassy of Japan in Thailand

本文へ English (英語) Thai (タイ語)

Google カスタム検索 検索 文字サイズ変更

トップページ | 大使館案内 | タイ王国案内 | 日タイ関係 | 開発協力 | 日本企業支援 | 領事館情報 | 広報文化 | タイ滞在知識 | 領事外交課 | リンク | ご挨拶 | メールマガジン | サイトマップ

## フォトアルバム

第12回ベトナム・インドネシア・タイ・フィリピン・日本語コンテストにおける日本文化紹介事業 (2017年12月2日)



協働点前 (於 在タイ日本国大使館) (2017年11月29日)



# プミポン前国王のご仏前の前で献茶



プミポン前国王が出家修行をされて、  
ご仏前が納められている  
ボーウォンニウエート寺にお参りして、  
献茶させて頂きました。

お寺の方も献茶することを大変喜んで  
下さり、前国王記念のお写真を拝受し  
ました。

# 中国杭州文化創意博覽会にて



# 海外での活動実績(関西領事団創立150年記念総会で各領事ご夫妻とともに。伊藤若冲講演茶会)



# 和文化を学ぶ……それは古くて新しいスタイルの企業研修です

## ■なぜ今「テーブル茶道 盆略点前(ぼんりゃくてまえ)」？

国際交流のためにつくられた「盆略点前」をマスターして真の国際人になる

この点前は13世円能齋の創案になったもので、茶の間でも洋式の室でも、どこででも手軽にお茶がたてられるように工夫した、非常に応用範囲の広いものです。

～裏千家茶の湯 鈴木宗保・宗幹より抜粋～

茶の湯・和文化への入り口として、明治期に国際交流と学校教育のために創案されたこの「テーブルでする盆略点前」を他業種とコラボして広める京都観光おもてなし大使としての活動が「京都市お宝バンク」が登録されています。

海外の方は交流するときに自国の文化を持っていることを我々に期待しており、文化交流をビジネスやおつきあいで愉しみたいと考えています。真の国際人の「知」のコミュニケーションツールのひとつとしてテーブルでの茶道を取り入れて頂きたいとご紹介いたします。

茶道の世界はもともと戦国時代当時のビジネスの場所であり、おもてなし、礼儀作法、落ち着き、経営指針、コミュニケーション力、美的感性を鍛え教養と品格をたかめます。「創発」「気配り」がどんどんできた人が出世したり、人気が出ていきました。私はこの茶道の世界から学ぶべき良いところをビジネスや暮らしに活かし「創発運動」を広げながら、日本を支える「おもてなし接遇マナー」をご提案してまいりたいと思います。

※「創発」とは予想できないことが起こったときに心温まる対応をすること。